

浦幌120年の歩み

明治14年	青森県人某、愛牛村に内地し野菜を栽培し、大津で販売(明治31年ころには3町歩耕作)。	昭和26年	厚内漁港第1種漁港となる。簡易水道完成。池田高等学校浦幌分校開校。川上・川流布・活平・幾千世に中学校設立。
明治16年	西田小次郎(岩手県人)が十勝村に内地。	昭和27年	十勝沖大震災、死者1名、重軽症139名、被害総額13億円。帯広土木現業所浦幌出張所開設。池田高等学校浦幌分校を北海道浦幌高等学校と改称し独立。浦幌保育園、村立に移管。
明治20年	生剛に十勝産馬改良組合を組織する。	昭和28年	森永乳業(株)十勝工場落成。十勝支庁浦幌地区林業指導事務所設置。字名地番改正。区長制度開始。厚内漁港第一期工事着工。有線放送施設完成。養老中学校、吉野中学校より分離独立開校。役場浦幌出張所新築落成(本別町より移転・簡易郵便局開設)浦幌村公民館新設。
明治29年	熊谷・岐阜の各農場が開設準備、翌30年に入植。	昭和29年	町政施行、浦幌町に改称。国保診療所開設。町政施行祝賀並びに震災復興感謝式挙行。浦幌炭礦閉山。
明治32年	生剛に郵便局開設。	昭和30年	町村合併により大津村東部地域を編入。浦幌町連合婦人会発足。北海道身体障害者福祉協会浦幌分会発足。浦幌町遺族会結成。
明治33年	生剛・愛牛・十勝の3村戸長役場を大津村より分離(浦幌町の開町)。常室小学校創立。吉野小学校創立。	昭和31年	町立診療所が病院に昇格。集約酪農地域指定。厚内診療所完成。豊北中学校開校。十勝中学校開校。
明治35年	生剛村巡査駐在所設置。厚内小学校創立。稲穂小学校創立。	昭和32年	農林漁業地域指定。浦幌高等学校新築落成。
明治36年	釧路・浦幌間鉄道開通、浦幌駅・厚内駅が開業。	昭和33年	浦幌林務所設置。桜満開時に降雪。浦幌中学校瀬多来分校、瀬多来中学校として独立。
明治37年	浦幌・豊頃間鉄道開通。浦幌小学校創立。静内小学校創立。	昭和34年	吉野地区で8千年前の土器発掘。
明治38年	生剛村役場を浦幌市街に移転。直別小学校創立。	昭和35年	チリ沖地震津波。帯広開発建設部浦幌出張所開設。トイック築堤着工。大津漁業協同組合厚内支所設置。
明治39年	二級町村制施行により十勝村は大津村に合併、生剛・愛牛をもって生剛村となる。ベツチャロ教育所新設。十勝太教育所設置。留真小学校創立。活平小学校創立。	昭和36年	浦幌畜産主産地形成計画地域指定。浦幌町体育協会発足。浦幌町納税貯蓄組合連合会設立。
明治40年	貴老路小学校創立。	昭和37年	農業構造改善計画地域指定。乳牛3千頭、乳量3万石達成。生剛地区に浦幌町発祥の地碑を建立。浦幌市街大火。18戸、100人被災。町立病院開設。
明治41年	本町の南北を貫通し、大津から本別に至る53kmの殖民道路が全通。川上小学校創立。	昭和38年	浦幌町総合8ヵ年計画樹立。老人クラブ誕生。ロランC局十勝太通信所設置。有線放送電話設置。浦幌ライオンズクラブ誕生。
明治42年	上常室小学校創立。	昭和39年	都市計画法指定。集中豪雨被害4億7,900万円。交通安全都市宣言。畜産生産地形成計画地域指定。
明治43年	川流布小学校創立。下頃辺駅開業。	昭和40年	学校給食開始。厚内市街簡易水道完成。観光協会設立。第1回秋あじ祭り。
明治44年	厚内巡査駐在所開設。上浦幌小学校創立。幾千世小学校創立。統太分教場(養老小の前身)開設。	昭和41年	留真温泉開館。浦幌町老人クラブ連合会結成。
明治45年	生剛村を浦幌村と改称。	昭和42年	新浄水場、上水道拡張完成。平和遺跡発掘調査。無火災の町宣言。川上・川流布・貴老路・上浦幌・活平中学校を統合し上浦幌中学校新設。常室小・中学校炭礦分校閉校。
大正 5年	浦幌市街大火(43戸焼く)。	昭和43年	郷土博物館完成。留真・常室中学校を閉校し、浦幌中学校に統合。
大正 6年	浦幌村火災消防組合設置。	昭和44年	町民憲章制定。開町70年。町政15年。町有林千ha造林達成記念式挙行。養護老人ホーム開設。優良町村として全国町村表彰受賞。浦幌町婦人連絡協議会発足。上常室小学校閉校。町民水泳プール完成。浦幌町文化協会発足。
大正 7年	役場庁舎全焼。	昭和45年	役場庁舎新築。山村地域指定。過疎地域指定。広域市町村圏地域指定。瀬多来中学校閉校。交通安全指導員制度発足。浦幌町総合計画審議会発足。観音トンネル開通。
大正 8年	瀬多来小学校創立。私設消防組設置。	昭和46年	東十勝消防事務組合浦幌消防支署発足。町立診療所新築。浦幌町電話交換局ダイヤル式電話となる。第2次農業構造改善事業地域指定。林野火災特別地域指定。下浦幌地区道営営農用水施設完成。浦幌町史発行。
大正 9年	常室・上浦幌に巡査駐在所設置。第1回国勢調査(10月1日)実施の結果、人口7,471人、戸数1,497戸。		
大正10年	常盤小学校創立。		
大正11年	常室郵便局開設。浦幌村家畜市場開始。		
大正13年	浦幌市街に初めて電灯がつく。上厚内小学校創立。		
昭和 2年	厚内郵便局開設。		
昭和 3年	上浦幌、留真郵便局開設。		
昭和 5年	浦幌に電話開通。		
昭和 6年	浦幌村商工会設立。		
昭和 7年	浦幌公会堂建設。		
昭和 8年	大和礦業(株)浦幌炭礦を開発。		
昭和10年	浦幌村酪農協会発足。		
昭和12年	吉野郵便局開設。		
昭和14年	浦幌川改修工事着工。種馬統制法により輓馬、駄馬(中間種)生産地指定。		
昭和19年	政府の非常増産緊急措置により浦幌炭礦休山。		
昭和20年	吉野原野国営で干拓着手。		
昭和21年	私立浦幌保育園開設。浦幌厚生病院開設。浦幌初の衆議院議員誕生(森三樹三)。		
昭和22年	浦幌炭礦復興。浦幌初の道議会議員誕生(朝日昇)警防団を解消し、浦幌消防団として新発足。貴老路・上浦幌・留真・常室・浦幌・吉野・厚内に中学校設立。		
昭和23年	農業協同組合、開協、農協設立。役場浦幌炭礦出張所開設。浦幌炭礦中学校設立。		
昭和24年	「浦幌村50年沿革史」発行。開村50年記念式典挙行。幌商工会発足。浦幌村(町)歌、浦幌小唄制定。		
昭和25年	初めて成人祭挙行。公民館開設。村報第1号発行。吉野台細石器遺跡発掘。豊北小学校開校。		

浦幌歴史年表

昭和47年	厚内漁港入港式。台風20号被害15億円。道道本別白糠線開通。	平成 4年	地籍調査事業始まる。森林公園シンボルモニュメント完成。総合スポーツセンター完成。旅来の渡し舟廃止。十勝河口橋完成。高齢者就労センター発足。第1回砂のアートinうらほろ開催。
昭和48年	厚内幼稚園開園。町立歯科診療所開設。国道38号線浦幌バイパス完成。	平成 5年	釧路沖地震。スイミングプールオープン。ロランC局海上保安庁に移管。浪漫村開村。文学碑完成。幾千世軽スポーツセンター落成。
昭和49年	町政施行20周年。浦幌中学校、生活改善センター落成。激甚災害復旧完成式典挙行。浦幌・幾千世・養老・豊北・十勝の5中学校が閉校し、新しい浦幌中学校開校。	平成 6年	女性消防団発足。釧路東方沖地震。アイスアリーナ完成。
昭和50年	上浦幌公民館新築落成。農村総合整備モデル事業実施地域指定。大雨による被害66億円。	平成 7年	特別養護老人ホーム「はまなす園」落成。北海道道議会議員選挙(地元から米沢一喜初当選)。うらほろパークゴルフ場オープン。十勝太漁業協同利用施設落成。
昭和51年	しらかば保育園、中央公民館完成。農村総合整備計画指定。第1回ふるさとのみりの祭り開催(以降毎年開催)	平成 8年	浦幌町まちづくり計画(平成8年～12年)策定。
昭和52年	あかしや保育園、うらほろ森林公園、葬祭場、共同利用模範牧場、直別営農用水施設完成。静内小学校閉校。	平成 9年	幾千世小学校閉校。コスミックホール落成。保健福祉センター開設。帯広土木現業所浦幌出張所新築移転。
昭和53年	上浦幌地域市街化計画地区決定。消防署庁舎、厚内公民館、浦幌郵便局、浦幌駅舎新築完成。	平成10年	活平小学校閉校。国道336号「浦幌大橋」渡橋式。中浦幌浄水場(富川)完成。町立診療所改築落成。池田地域訪問看護ステーション開設。
昭和54年	開町80年記念式典挙行。十勝コミュニティ防災センター完成。高齢者生産活動センター着工。	平成11年	教育文化センター(図書館・博物館)オープン。開町100年記念式典挙行。
昭和55年	地域集団電話一般化切替完成。農業団地センター完成。過疎地域振興計画策定。役場上浦幌支所農業団地センターに移転。下水道事業計画決定。	平成12年	リサイクルセンター完成。新養老小学校閉校。
昭和56年	国土利用浦幌計画設定。	平成13年	上浦幌中学校新校舎落成。浦幌町第2期まちづくり計画(平成13年～22年)策定。
昭和57年	吉野幼稚園、町立桜町歯科診療所完成。浦幌十勝導水路完成。十勝河口橋(国道336号)着工。稲穂・直別・上厚内・豊北小学校閉校。浦幌商工事業協同組合設立。	平成14年	養護老人ホーム完成。
昭和58年	上浦幌幼稚園開園。農村情報連絡施設、普通林道山几千世線完成。釧路地方法務局浦幌出張所新築落成。小学生との青空懇談会開催(平成15年まで)。	平成15年	十勝沖地震発生(M8.0)
昭和59年	町政30周年記念式典挙行。過疎地域振興計画(60年～64年)策定。学校給食センター、浦幌消防署吉野分遣所、東山スキー場夜間照明施設完成。道営福祉住宅(老人同居)完成。浦幌高等学校新築落成。えのき茸栽培施設完成。留真小学校閉校。	平成16年	浦幌小学校開校100周年記念式典。池田・豊頃町との合併任意協解散。
昭和60年	浦幌町まちづくり計画策定。勤労者野外活動施設(全天候型テニスコート、ローラースケート、アイスホッケー、センターハウス)完成。	平成17年	豊頃町との合併協議破綻。吉野小・常室小・厚内中閉校。
昭和61年	町のキャッチフレーズ制定。町の花・木・鳥指定。上浦幌中央小学校、屋外ゲートボール場完成。東山野球場整備事業着手。岩手県大野村模範牧場と姉妹提携。浦幌駅特急列車停車開始。道営普通林道厚内線開通。川上・貴老路小学校閉校。	平成18年	指定管理者制度導入。
昭和62年	貴老路地区営農飲雑用水施設完成。厚内簡易水道増補改良工事完了。稲穂地区国営農地開発事業着手。第1回ワールド寒風寒けり大会開催。一般廃棄物処理センター完成。	平成19年	「トカチの地上絵」政策。ギネスに挑戦。
昭和63年	第3セクター浦幌乳業(株)設立。農村環境改善センター完成。釧路トンネル完成(開通)。浦幌町バイオメディカル研究所設立。	平成20年	厚内トンネル完成。浦幌高等学校募集停止。
平成元年	開町90周年式典挙行。野外ステージ完成。札幌野外コンサート開催。農業技術拠点施設完成。うらほろ町民球場完成。	平成21年	開町110年記念式典挙行。道の駅うらほろオープン。本別浦幌IC開通記念式典挙行。
平成 2年	十勝小学校閉校。公共下水道供用開始。日立建機(株)と進出協定調印。緑のマスタープラン策定。浦幌川・瀬多来川災害復旧事業竣工。	平成22年	上浦幌小学校創立100年兼閉校記念式典挙行。浦幌高等学校閉校。吉野幼稚園閉園。
平成 3年	第1回雪の夏まつり開催。上浦幌地区農村公園「ふれあい広場」完成。	平成23年	東北地方太平洋沖地震発生(M9.0)、厚内地区津波被害。うらほろ留真温泉リニューアルオープン。
		平成24年	移住体験住宅(南町)落成。国道336号開通を祝う記念式典挙行。霧止峠(道道直別共栄線)の新道が開通。
		平成25年	第一管区海上保安本部十勝太ロラン航路標識事務所閉局。十勝うらほろブランド推進協議会設立。
		平成26年	岩手県洋野町と「友好の町絆協定」を締結。
		平成27年	Shakko Night(シャッコイナイト)初開催。役場庁舎耐震防災改修工事完了。北海道横断自動車道(道東道)上浦幌パーキングエリア完成供用。小中一貫コミュニティスクール導入。浦幌町議会初の定数割れ。給食費無料化実施。
		平成28年	厚内小学校閉校。
		平成29年	コミュニティバスが運行を開始。道道直別共栄線の「平成かもめ橋」が開通。上厚内駅が廃止。浦幌アンバサダー第1号の委嘱。地方自治法施行70周年記念式典(総務省主催)で浦幌町が「市町村表彰」を受賞。
		平成30年	新学校給食センター完成。胆振東部地震により大規模停電(ブラックアウト)が発生。うらほろスタイル複合施設「フタバ」開所。
		平成31年	開町120年記念「うらほろ冬花火」開催。
		令和元年	開町120年記念式典挙行。